

# コーディネーター通信

小・中学部用 第19号 平成23年12月20日  
三重県立稲葉特別支援学校 特別支援部発行

## 「コーディネーター通信」についてのアンケート結果（その3）

### 問10 自由記述編②

前号に引き続き、問10「コーディネーター通信について」の自由記述のご意見を紹介させていただきます。

Lさんより

とっても分かりやすく、とっても良いと思います。来年度も期待してます。

⇒ありがとうございます。今後も分かりやすくお伝えすることを心がけたいと思います。

Mさんより

事業所の各種サービス等、連絡先まで書いてあって、良かったです。

県等の広報やHPを見ても、難しい言葉が多かったり、肝心なところは「詳しくは〇〇へ」等とわからなかったり…。また、特別なことでもない限り、見ることもないので、また、いろいろ教えてほしいです。

⇒ありがとうございます。通信への掲載にあたっては、全ての事業所様に掲載の許可をいただいております。今後も役立つ内容を掲載できればと思います。情報量についても多すぎたり、手間がかかると活用しにくい面もあるようですね。この通信もより分かりやすくお伝えするように心がけたいと思います。

Nさんより

福祉サービスなど新しい情報がわかって、とてもためになります。

これからも、色々教えていただきたいです。

⇒ありがとうございます。今後も様々な機関と連携し、新しい情報やためになる情報をお伝えしたいと思います。

## 〇さんより

子供が入学して初めて「支援コーディネーター」ということばを知りました。いつ、どんなことをされていて何か聞きたくても、いつ、どうやって聞けば良いのかわからず「別の世界」のような感覚でした。今年になって、この「コーディネーター通信」が発行され、ためになる情報をわかりやすく知ることができました。(我が子もヘルパーさん支援など利用を考えていたところなので) 文面も先生の優しさがでていて、今度、直接お話してみたいと思いました。これからもよろしくお願いします。

⇒ありがとうございます。特別支援教育コーディネーターは現在全ての学校に設置されています。特殊教育から特別支援教育へ転換する際、このコーディネーターを各学校に任命するということになりました。教育の世界にコーディネーターという言葉は違和感がありますが、実際は、その職務も多岐にわたっています。この「コーディネーター通信」も保護者の皆様が必要とする情報をコーディネーターとして関係機関と連携しながら、お伝えすることを心がけています。当初はどういったことをお伝えすればよいのか、かなり悩みましたが、私も一緒に学ばせていただくという立場で紙面作りに取り組むようにしました。今回のアンケートも保護者の皆様のニーズを知ることが第一でした。

私も分からないことばかりですが、また、直接お話できる日を楽しみにしています。こちらこそ、どうぞよろしくお願いします。

15人の保護者の皆様より、自由記述のご意見を伺いました。貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。好意的なご意見も多数寄せられ嬉しい結果でした。いただいたご意見を参考に、今後もよりよい通信作成に取り組みたいです。

また、今回のアンケートの結果から、改めて福祉に関わることにつきましては、津市障がい者相談支援センター(059-272-4554)と津市障がい福祉課(059-229-3157)にまずは相談していただくことをお願いしたいと思います。

この通信でお伝えしていることは、私も障がい福祉課さんなどでお聞きした内容に過ぎません。この通信の情報は、福祉につながるひとつのきっかけにしかならないと思っています。ちょっとした疑問点など些細なことでも、是非、この2つの機関に相談していただくことが、様々な問題の解決の近道だと思います。その点、どうぞ、よろしくお願いします。

また、通信第11号で各種相談機関につきましても、掲載させていただきました。相談機関もたくさんありますので、目的に応じて複数の相談機関を活用されるのもよいのではと思います。

福祉だけでなく、学校のことや教育に関することにつきましても、今後、様々な情報をお伝えできればと思います。どうぞよろしくお願いします。

保護者の皆様アンケートへのご協力誠にありがとうございました。

# バスでの出来事



先日、午前中の出張を終え、津駅からいなば園に向かうバスに乗った時のことでした。どこかで見たことのある女の子が同じバスに乗り込んできました。どうやらその子は、本校の高等部の生徒で、私には気づいていないようでした。

私は一番後ろの席で、その生徒は前から3番目ぐらいの席に座っていたのですが、久居駅を過ぎ、途中お婆さんが乗りこんで来た時のことです。私からはお婆さんの頭が少し見えたかなという時、その生徒が「持ちますよ」と階段を昇りかけたお婆さんの元に行き、バスの車内に持ちこもうとした乳母車を持ち上げ、車内に運び入れたのです。一瞬の出来事でした。私は、思わず「アッ」と声を上げそうになりました。それは、バスの中でそんな光景に出会うことが、これまでほとんどなかったこともあるのですが、その行動を行ったのが、本校の生徒であったからです。

困っている人を助けるというのは、口で言うのは簡単ですが、なかなか態度として表わすことは難しいものです。ましてや見ず知らずの人に対して、そのようにためらうことなく、すぐにそのような行動をとるなんてなおさらです。

それは、その生徒の持つ本来的な優しさなのか、優しさだとすると家庭でそのような教育をしてもらってきたのか、それとも本校の担任がそういう指導を行ったのか？しばらく感動のあまりそんなことを考えていました。

その後、その生徒はお婆さんがバスから降りる際も「持ちますよ」と声をかけていましたが、さすがにお婆さんも「大丈夫です」と断りを入れていました。何事もなかったように席につくその生徒の姿に、ふと失いかけていた純粋な気持ちを思い起こさせてもらったような、そんな気がしました。

いなば園前でバスを降り、その生徒に声をかけると「だ～れだ？」と言われ、「小学部の西井です。」と。なるほど、私に気づかないのもそれは無理ないなと思いつつも、気を取り直し、ゆるやかな坂を登りながら、先ほどのお婆さんの話や、修学旅行の話などいろんな話をしながら一緒に歩いたのでした。

良い場面に出会いましたので、報告させていただきました。



merry  
Christmas



今年もいよいよ残り数日で終わりとなります。今年は皆様にとってどんな年でしたでしょうか。よい年でしたか？

振り返れば色々なことがあった1年だったと思います。来年は、新たな年に向かい、良くなかったことは今年中に全て洗い流し、良かったことは更に良い方向につながってほしいと思います。

心残りは、様々な事情や理由があって、学校に登校できない子どもたちがいることです。もちろん医療が第一優先ですから、無理をする必要はありません。十分に体調を整えてほしいと思います。

しかし、私達教員は、登校していないからといって、決して忘れていません。学校へ来れる日が来たなら、たとえ1日でも登校できる日を待っています。

3学期は、1月10日（月）からのスタートです。皆様、インフルエンザや風邪、食べすぎなどには充分気をつけて、冬休みを過ごして下さい。始業式に元気な姿で登校してくるのを待っています。

では、良い年をお迎えください。

